



# 上野南部 自治協だより

令和4年9月15日 第65号  
発行 上野南部地区  
住民自治協議会  
編集 広報部会  
<http://ueno-nanbu.com>



## ときめき部会

## ～現地散策勉強会～

7月31日(日)10時から、『上野南部地区の歴史と文化』の冊子に掲載されている12ヶ所の文化遺産等を上野南部地区居住のいがうえの語り部の会の炊さんと加藤さんから説明を受けながら散策をしました。

普段では、見る事ができない愛宕神社の本殿や法輪寺の子安地蔵など、関係者のご厚意で見せていただくことができ、貴重な体験となりました。

コロナがまん延しなければ、上野南部地区散策第2弾を計画予定です。また、ご参加ください。

### 【今回の散策コース】

- 愛宕神社・忍之社→愛宕不動明王→蓑虫庵→松本院→九重旅館→赤井家住宅→寿源地蔵→一願地蔵→西念寺→秋葉神社→法輪寺→溝川地蔵



## 上野南部地区 人権のつどい 人権講演会

8月6日(土)10時30分から、上野南部地区出身の浅井絵利香さんを講師に迎え『戦争禍の中のウクライナの人々』と題して講演会を開催しました。

今回の講演会は、コロナ感染拡大の状況から、参加者を運営委員と民生委員児童委員のみに制限しました。



今年の2月24日にロシアがウクライナへの侵攻を開始し、空襲警報がなるたびに居住マンション地下にあるシェルターに避難を余儀なくされました。国外への避難を開始したのは、現地時間の3月4日。乗車予定の電車が動かず、とにかく西へ避難しようと、どこに行くのかもわからない電車に子どもさんと飛び乗ったそうです。それがスロバキア行きの電車と分かり、多くのボランティアの支援を受けながら、3月11日、日本に帰国されました。



色々なお話を聴かせていただきましたが、ウクライナは温かい気持ちの人たちが住む景色のきれいな国なので、日本の皆さんにウクライナのことをもっと知ってもらいたいし、ウクライナ支援の為にウクライナ料理のレシピカードやユネスコ無形文化遺産ペトリキフカ塗り(初級編)など自主出版し、募金活動を行っているそうです。

※詳しくは、ホームページをご覧ください！



## 伊賀市都市計画道路 南平野木興線 建設促進期成同盟会からのお知らせ

7月13日(水)に伊賀市都市計画道路 南平野木興線建設促進期成同盟会の山本会長、前川副会長、顧問の濱瀬議員、北森議員が伊賀市長に面談して事業の推進を要望しました。

伊賀市都市計画道路 南平野木興線は、上野愛宕町から木興町間が未改良で、この区間の既設道路は狭隘で火災時の消防車両や救急車両の通行も困難な現状です。

期成同盟会はこのような現状を踏まえ、地域住民の不安を少しでも解消し住民が安全で安心して暮らせるよう事業の促進をお願いしました。

市からは、「国道との接続の関係でルート変更の手続きが必要で、まずは木興地区の住民の理解が必要である。」と述べられました。これに対し前川副会長は木興地区の自治会役員等をお願いしてまいりますと返答しました。

地元の合意が得られれば、市で計画をつくり、県と協議のうえ実施したいとの回答がありました。



## 『上野南部地区の歴史と文化』寺院編より

### れん ち し 蓮 池 寺

- 紫雲山蓮池寺
- 浄土宗
- 御本尊・阿弥陀如来

恵美須神社から、東に少し行ったところに蓮池寺があります。

#### 由来

永禄年間(1558年~1569年)に、伊賀国印代村に住んでいた田中判官教近が修験僧となり、諸国行脚した際に比叡山光明寺の智聖坊から阿弥陀如来座像と蛭子像を譲り受けます。判官は大層ありがたがり、毎日拝む内に夢で啓示を受け、上野南郊に広がる蓮池のほとりに草庵を建て、その草庵を蓮池寺としたのが創建と伝えられています。

※現在蛭子像は、恵美須神社のご神体として祀られています

#### 再建

蓮池寺は、たびたび火災に遭っています。記録によると、元禄七(1694)年には、当時の池町から田端町までが燃える大火の時に蓮池寺も消失しましたが、幸い仏像は無事だったので仮堂を建てて安置していました。その後、文化年間(1804年~1817年)に諸堂が現在の配置で再建されました。



所在地 伊賀市上野恵美須町1508